



年間約2,000万人の観光客（入込観光客数）が訪れるまち



鎌倉市の概要

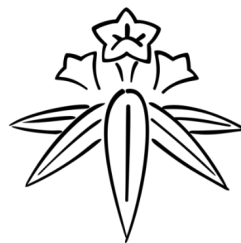
• 市制施行	昭和14年11月3日
• 面 積	39.53m ²
• 人 口	172,321人(男性：81,039人・女性：91,282人)
• 世 帯	74,622世帯

前年同時期との比較：+127人
※H31.4.1現在

前年同時期との比較：+683世帯



市の花：リンドウ



市章：ササリンドウ

藤原時代に貴族の衣服の文様として用いられ、村上源氏一門の家紋としても知られています。



流れる時間も、
鎌倉です。

鎌倉

Kamakura

ときをたのしむ。

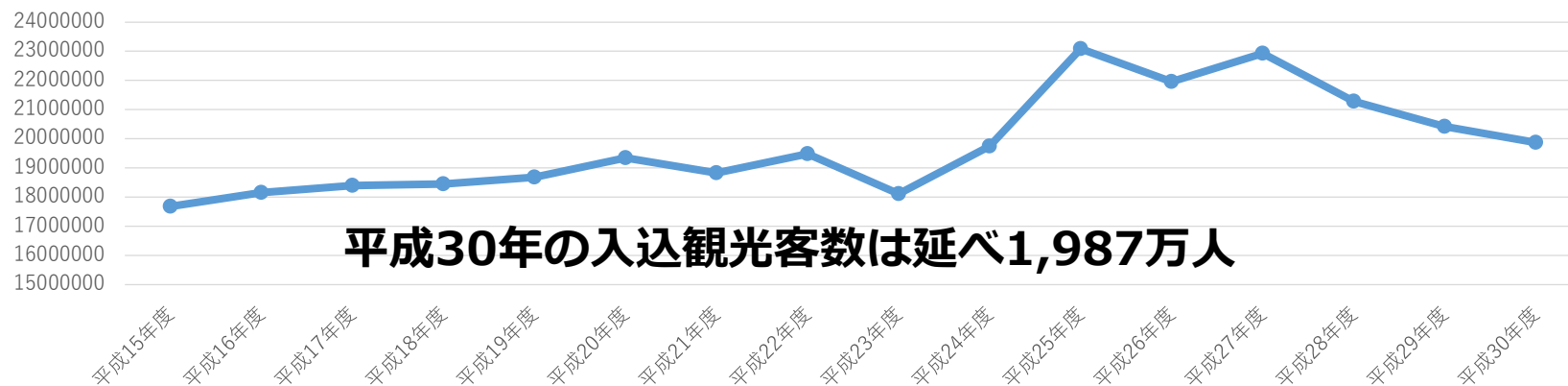






鎌倉市の観光の概要

観光の特徴



平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
17,682,117	18,155,319	18,401,674	18,455,281	18,685,598	19,344,470	18,833,713	19,486,481
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
18,110,868	19,743,182	23,083,038	21,956,245	22,925,780	21,285,103	20,423,829	19,870,715

観光の特徴

特徴 1 国内において知名度が高く良好なイメージ

全国の市町村の魅力度ランキングで例年ベストテン入り

地域ブランド調査 2018 (株)ブランド総合研究所)

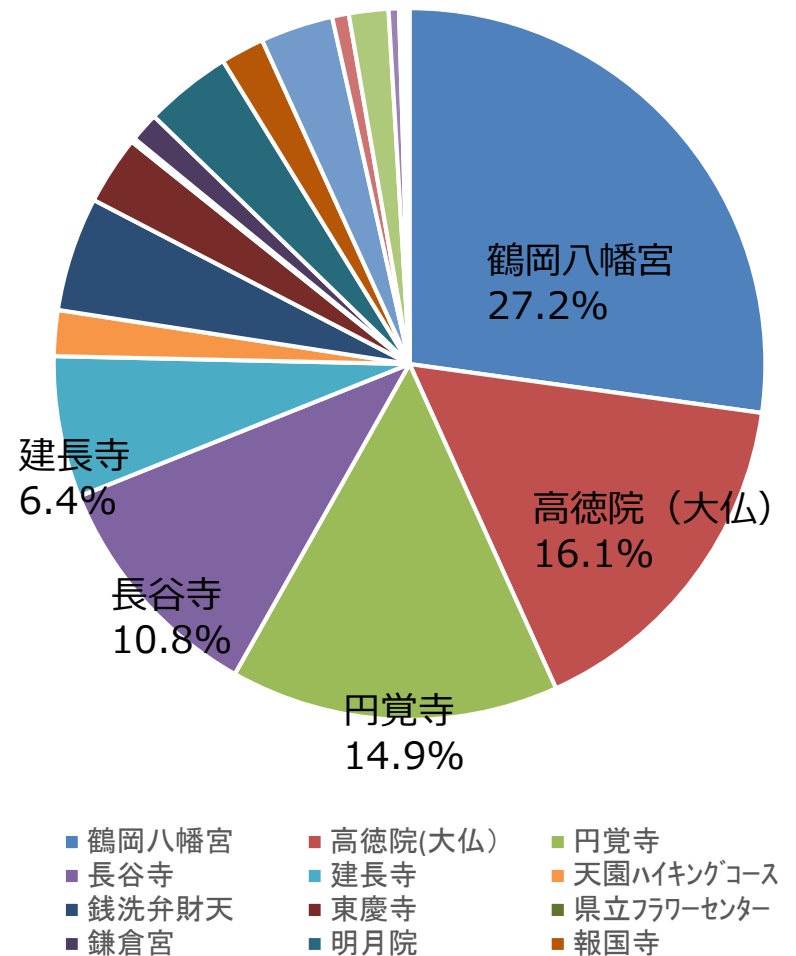
1位：函館市、2位：京都市、3位：札幌市、4位：小樽市
5位：神戸市、6位：横浜市、7位：富良野市、**8位：鎌倉市**

特徴 2 首都圏からの日帰り観光地

延べ観光客数	1, 987万人 (H30)
宿泊者数	30万人 (H30)
宿泊率	1.5%

どのような施設をまわりますか(複数回答可)

	合 計	選択率
鶴岡八幡宮	288	27.2%
高德院(大仏)	170	16.1%
円覚寺	158	14.9%
長谷寺	114	10.8%
建長寺	68	6.4%
天園ハイキングコース	22	2.1%
銭洗弁財天	55	5.2%
東慶寺	33	3.1%
県立フラワーセンター	2	0.2%
鎌倉宮	14	1.3%
明月院	42	4.0%
報国寺	21	2.0%
鎌倉海岸	35	3.3%
瑞泉寺	8	0.8%
浄智寺	19	1.8%
鎌倉文学館	5	0.5%
鎌倉国宝館	2	0.2%
大船観音寺	1	0.1%
県立近代美術館	2	0.2%
合 計	1059	



観光の特徴

特徴3 人口・面積に対して観光客が多い（H27）

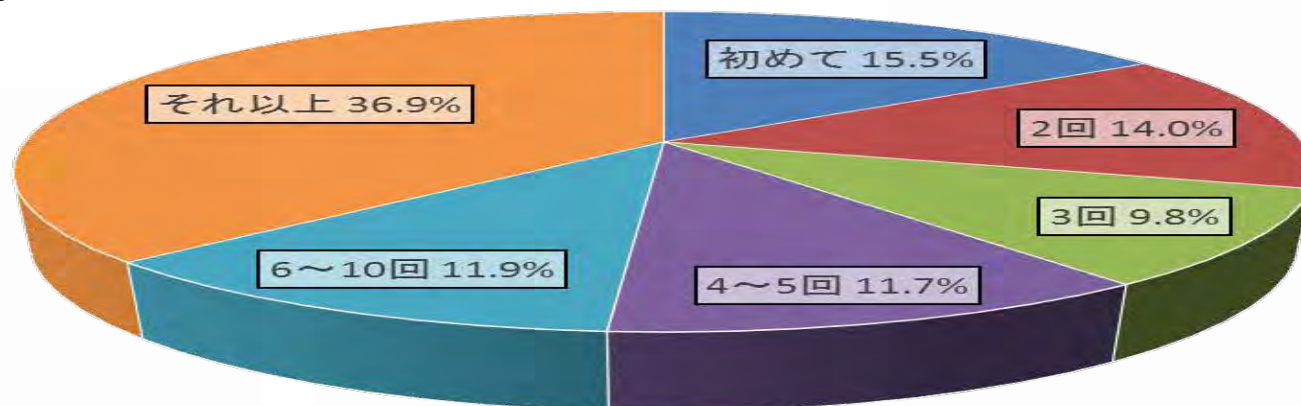
	入込客数（千人）	面積（Km ² ）	人口（千人）	面積当たりの入込客数（千人）	人口当たりの入込客数（人）
鎌倉市	22,925	40	177	573	130
京都市	56,840	828	1,417	69	40
奈良市	14,976	277	363	54	41
日光市	11,957	1,450	84	8	142

特徴4 地域的、季節的、時間的に偏りがある

- 地域 : 鎌倉駅周辺－鶴岡八幡宮、北鎌倉駅周辺－建長寺、円覚寺、長谷駅周辺－長谷寺、大仏
- 季節 : 1月（初詣）、6月（紫陽花）、11月（紅葉）
- 時間 : 10時～15時（日帰り客が多い）⇒朝（宿泊客が少ない）、夜（商店が早く閉まる）

観光の特徴

特徴5 リピーターが多く、再来訪意識が高い



特徴6 年代、目的に合わせた多様性がある

歴史・文化、自然・景観、ウォーキングなどの屋外活動、食の魅力



[日経MJ] 観光・インバウンド面 2018年7月2日付]

鎌倉市の交通政策の取り組み



主な交通施策の検討及び実施

1. パーク＆ライド (実施済み)

2. 鎌倉フリー環境手形 (実施済み)

3. 江ノ電鎌倉駅における優先入場 (実施済み)

4. (仮称) 鎌倉ロードプライシング (検討中)

鎌倉の魅力を維持するために（渋滞対策）

現状：鎌倉の観光拠点である鎌倉地域は、休日を中心に著しい交通渋滞が発生

これまでの取組

○鎌倉市交通計画研究会（平成8年度設置）

・市民、学識経験者、交通事業者、関係行政機関等で構成し、地域の交通問題の改善に係る20の施策を提案し、実施可能なものから順次実施

○パークアンドライド（平成13年度より実施）

・鎌倉地域周辺の所定駐車場（4箇所）で公共交通機関（江ノ電、シャトルバスなど）への乗り換えを実施（利用促進策として協賛店での料金の割引やサービスを実施）

○鎌倉フリー環境手形（平成13年度より実施）

・鎌倉地域の主要観光地をカバーする5路線のバスと江ノ電の鎌倉駅～長谷駅間が1日乗降自由になる切符を販売（利用促進策として協賛店や神社等で割引等を実施）

⇒抜本的な交通渋滞の解消は出来ていない



課金により流入交通量をコントロールする**ロードプライシング**を検討

AIを活用した観光課題解決について

AIを活用して定型的業務の自動化を図りたい

(案1) カメラ等による混雑情報分析に基づく観光自動案内

現在、国交省事業で市内に設置しているカメラ等から得られる混雑情報を基に、AIが混雑を避けて楽しめる観光ルートを提案。
観光客にとっては、リアルタイムの観光情報を得ることができ、職員にとっては、観光案内問い合わせ減による負担軽減が期待できる。

(案2) カメラ映像のAI分析による観光客数推計調査

鎌倉駅改札付近など、観光客が多く訪れる地点にカメラを設置。その映像をAIが分析することで、映像に頻出する市内在住者・在勤者を除いた観光客推計が可能となるのではないかと推測する。
現在の観光客数調査には調整と集計に多くの時間を費やしており、これが実現することで職員の負担は大きく軽減が期待できる。

令和元(2019年)5月23日

観光課長 廣川

電話 0467-23-3000

内線 2351

鎌倉市と株式会社デジタルガレージ、株式会社 unerry、株式会社昭文社は

協定を締結しました

～オーバーツーリズム解消に向けた観光客の行動を可視化調査～

このたび、鎌倉市と株式会社デジタルガレージ（本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁）、株式会社 unerry（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：内山 英俊）、株式会社昭文社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：黒田 茂夫）の4者は、鎌倉市の観光課題であるオーバーツーリズム（※1）を解決するため、観光客の行動分析を行い、観光客の行動を可視化し、動態情報を取得する調査の実施に関する協定を締結しました。

（※1）オーバーツーリズムとは

観光地において、訪問客の著しい増加等が、地域住民の生活や自然環境、景観等に対して受忍限度を超える負の影響をもたらしたり、観光客の満足度を著しく低下させたりするような状況を指します。